

令和 5 年度
燕市教育行政評価結果報告書

目 次

I. はじめに

1. 点検・評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 教育行政評価委員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3. 点検・評価の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II. 点検・評価の結果

【令和5年度評価対象事業】

1. 「令和5年度 評価対象事業一覧」・・・・・・・・・・・・ 3
2. 「Good Job つばめ推進事業」・・・・・・・・・・・・・・ 4
3. 「コミュニティ・スクール導入促進事業」・・・・・・・・ 6
4. 「STEAM 教育推進モデル事業」・・・・・・・・・・・・・・ 8
5. 「地区公民館事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
6. 「新分水良寛史料館基本構想策定事業」・・・・・・・・ 12
7. 「文化財保護事業」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

【第3次燕市学校教育基本計画】

8. 「第3次燕市学校教育基本計画の評価」・・・・・・・・ 15

III. 教育委員会の事業一覧

1. 令和5年度に実施した主要事業一覧・・・・・・・・・・・・ 20

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1. 教育委員会の会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
2. 総合教育会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
3. 教育委員の視察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
4. 教育関係会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

I. はじめに

1. 点検・評価の目的

燕市教育委員会では、市民に信頼される公正で透明、簡素で効率的な教育行政の実現を図るため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）第 26 条の規定に基づき、毎年、主要な施策及び事務事業の取組状況について点検評価を行い、課題を明らかにし、今後の方向性を示しています。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

【第 3 次燕市総合計画※に掲げる基本方針及び施策】

戦略 1 定住人口戦略

基本方針 2 次代につなぐ教育の推進・子育て支援

施策 1 教育の充実

施策 2 子育て支援の充実

戦略 2 活動人口戦略

基本方針 1 いきいきと輝く健康づくり・生きがいづくり

施策 2 スポーツの推進

施策 3 生涯学習・文化活動の充実

※ 第 3 次燕市総合計画（抜粋）

「燕市教育大綱」は、教育立市宣言を基本目標とし、市の教育、学術および文化の振興に関する方針や施策を定めるものであり、総合計画における教育行政に関する内容がその方針や施策に該当するため、本計画をもって大綱に代えることとします。

2. 教育行政評価委員

(敬称略)

氏 名	役 職 等
委員長 原 田 完 二	元長岡市立寺泊小学校長
副委員長 小 林 理恵子	元燕市総合計画審議会委員
委 員 大 橋 和 明	元燕市立燕西小学校 PTA 会長

3. 点検・評価の実施状況

令和5年度に実施した全ての予算事業とその上位目標である施策の中から、6事業について教育行政評価委員から選定していただき、評価を行っていただきました。

また、第3次燕市学校教育基本計画についても点検及び評価を行っていただきました。

開 催 日	出 席 者	委 員 会 内 容
令和6年 7月8日(月)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長補佐及び事務局職員10名	<ul style="list-style-type: none"> ・事業評価作業 ・第3次燕市学校教育基本計画の評価作業
令和6年 8月7日(水)	委員3名、教育次長、教育委員会主幹、学校教育課長、社会教育課長及び事務局職員9名	<ul style="list-style-type: none"> ・報告書の確認

Ⅱ. 点検・評価の結果

令和5年度 評価対象事業一覧

事業名	評価委員の評価
Good Job つばめ推進 事業	<ul style="list-style-type: none"> • 少人数での職場体験をできるように、より多くの企業から受け入れていただきたい。 • 動画を活用することで、危険性などの理由から受け入れが難しい企業でも職場体験をできるようにしていただきたい。 • 学校と企業のつながりが希薄にならないよう配慮していただきたい。 • 商工会議所、つばめいと等との協力も検討していただきたい。
コミュニテ ィ・スクー ル導入促進 事業	<ul style="list-style-type: none"> • 商工会議所、地域の団体とコミュニティ・スクールが連携できるようにしていただきたい。 • さまざまな年齢の人に委員を務めていただきたい。 • 地域の熱量がある方を生かせる仕組みづくりをしていただきたい。
STEAM 教育推進モ デル事業	<ul style="list-style-type: none"> • 燕中学校の特色と言えるように活用を進めていただきたい。 • 道具を使うことを目的とするのではなく、目的のために道具を活用していただきたい。 • 実際にものづくりをしている人の話を子どもたちに聞かせて、ものづくりに対する好奇心を育てていただきたい。 • 最先端を体験するということは、創造性を育むことにつながる。他の中学校でも進めていただきたい。
地区公民館 事業	<ul style="list-style-type: none"> • ターゲットである高齢者の方から、より多く参加していただくために事業を充実させていただきたい。 • 文化祭に児童、生徒から参加してもらい事業を活性化していただきたい。 • 新規事業と継続事業をうまく組み合わせながら利用者の減少を食い止めている。今後も継続していただきたい。
新分水良寛 史料館基本 構想策定事 業	<ul style="list-style-type: none"> • どんな施設にも当てはまる基本構想ではなく、燕市らしい分水良寛史料館に適した基本構想を策定していただきたい。 • 地元の子どもの意見を取り入れ、特色ある施設としていただきたい。 • 分水良寛史料館以外にも他の地域に良寛に関わる施設がある。何をターゲットにするのか明確にいただきたい。
文化財保護 事業	<ul style="list-style-type: none"> • 文化財は、知られていなければそのまま朽ちていく、情報発信に努めていただきたい。 • 建造物は特に個人所有だと修理費などの負担が大きい。補助金などにより応援していただきたい。 • 文化財は観光資源になり得る、活用していただきたい。 • 文化財は、所有者が代替わりする際に失われていくものが多い、個々の所有者と相談し適切に対応していただきたい。

令和5年度 教育行政評価報告書

点検項目	Good Job つばめ推進事業
5年度達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ・4年ぶりに事業所での職場体験を実施する。 ・望ましい勤労観・職業観を育み、学ぶことや働くことの意義や自分の将来を明確に考えることができる生徒を育成する。 ・「ふるさとへの愛着や誇りの醸成」と「自立して生きていく力の育成」により、『生きる力がみなぎる燕の子ども』を育成する。
目標の達成状況	<p>全中学校で、事業所での職場体験を実施できた。生徒アンケート結果より、望ましい勤労観・職業観、学ぶことや働くことの意義については理解を深めることができたと考える。一方、自分の将来を明確に考える、ふるさとへの愛着や誇りの醸成については、課題である。</p>
取組の概要	<p>○職場体験に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Good Job つばめ推進事業実行委員で職場体験実施を決定 ・生徒向けマナー講習会、事業所向け説明会 ・各校で3日間の職場体験の実施（中学2年生） <p>○キャリア教育講演会（中学1年生）</p>
自己評価	<p>4年ぶりの職場体験を実施することができた。久しぶりの実施だったが、大きなトラブルなく実施することができた。多くの事業所から受入れていただいた。ケガの危険性などの理由から、燕市らしいものづくり企業の受入れが少なく、ふるさとへの愛着や誇りを醸成する点で課題となった。</p>
評価委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数での職場体験をできるように、より多くの企業から受け入れていただきたい。 ・動画を活用することで、危険性などの理由から受け入れが難しい企業でも職場体験をできるようにしていただきたい。 ・学校と企業のつながりが希薄にならないよう配慮していただきたい。 ・商工会議所、つばめいと等との協力も検討していただきたい。

今後の方向性	<ul style="list-style-type: none">• 受け入れ事業所を増やすために、4月から始まる受け入れ事業所の募集開始前に、商工会議所やつばめいと等の民間と連携できるように、働きかけを行う。• 学校が事業の目的を共有できるよう、学校の担当者会議の内容を見直す。• 事業所の担当者向けの説明会を実施する。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【所管：学校教育課】

令和5年度 教育行政評価報告書

点検項目	コミュニティ・スクール導入促進事業
5年度達成目標	<p>①モデル校を除く17校にCS準備委員会を設置し、目指す子ども像についての協議や学校運営協議会委員の選定等を行う。</p> <p>②CSに関する説明会やチラシの配付等をとおして、CSの目的や内容を学校、保護者、地域住民に周知する。</p>
目標の達成状況	<p>①17校すべてに準備委員会を設置し、令和6年3月末までに合計54回開催された。全ての学校で、目指す子ども像についての協議や学校運営協議会委員等の選定が行われた。</p> <p>②17校すべての準備委員に対し、学習会を実施した。また、自治会関係者、社会教育委員への説明も実施した。</p>
取組の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備委員会の開催状況 令和5年5月～令和6年3月：合計54回 ・ CSに関する説明会等の開催 燕市自治会協議会理事会で説明（4月） 燕市自治会協議会総会で説明（5月） 中学校区または学校区ごとに、準備委員を対象とした学習会（5～7月） 社会教育委員を対象とした研修会（11月） ・ チラシの配付 令和6年度学校運営協議会委員およびCS事務員の候補者へ、学校教育課で作成したチラシを配付。
自己評価	<p>各準備委員会において、目指す子ども像の協議や学校運営協議会委員等の選定を行うことができた。令和6年度4月にCSを導入し、順次、学校運営協議会を開催することができた。</p> <p>また、準備委員、自治会関係者、社会教育委員へCSの説明を実施したり、チラシを配付したりすることで、一定の周知を図ることができた。</p>

評価委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> • 商工会議所、地域の団体とコミュニティ・スクールが連携できるようにしていただきたい。 • さまざまな年齢の人に委員を務めていただきたい。 • 地域の熱量がある方を生かせる仕組みづくりをしていただきたい。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> • 他市町村の地域コーディネーターを講師に招き、取組みを紹介してもらおう研修会を実施する。 • 評価委員の意見を各コミュニティ・スクールへ周知する。

【所管：学校教育課】

令和5年度 教育行政評価報告書

点検項目	STEAM教育推進モデル事業
5年度達成目標	<p><活動指標> STEAM教育に関わる教員研修の実施回数 3回</p> <p><成果指標①> 学びを生かした探究活動に取り組む生徒の割合 85%以上</p> <p><成果指標②> 地域や社会の課題解決に取り組もうと思う生徒の割合 60%以上</p>
目標の達成状況	<p><活動指標> 4回（授業デザイン、機器操作×2、視察）</p> <p><成果指標①> 86%（モデル校における肯定的評価の割合）</p> <p><成果指標②> 63%（モデル校における肯定的評価の割合）</p>
取組の概要	<p>① 「つばくろ - Lab.」の開設 民間企業の助言を得ながら機器を選定し、PC教室の改修、機器の設置工事等を実施。</p> <p>② 「つばくろ - Lab.」活用に関わる研修会の実施 STEAM教育の授業デザインや3Dプリンター等の機器操作に関わる研修、先進地視察研修（埼玉県戸田市）を実施。</p> <p>③ ものづくり・PC部での活用 ものづくり・PC部が製作活動での活用を開始。</p> <p>④ STEAM教育カリキュラムの計画と検討 年間で計5回のプロジェクト会議を実施。令和6年度は、全ての学年において、総合的な学習の時間の中で、アプリケーション及び機器の操作スキル習得の時間と課題探究学習の時間を設定する予定。</p>
自己評価	<p>つばくろ-Lab.の開設、教員研修、カリキュラムの計画立案を滞りなく進めることができ、カリキュラム実施に向けた準備が整った。計画したカリキュラムの実施が円滑に進むよう、ICT支援員の常駐やアドバイザー派遣等の人的サポート、必要物品の調達等の物的サポートを、教育委員会として行っていく必要がある。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 燕中学校の特色と言えるように活用を進めていただきたい。 • 道具を使うことを目的とするのではなく、目的のために道具を活用していただきたい。 • 実際にもものづくりをしている人の話を子どもたちに聞かせて、ものづくりに対する好奇心を育てていただきたい。 • 最先端を体験するということは、創造性を育むことにつながる。他の中学校でも進めていただきたい。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒の創造性や好奇心を育むことを念頭におき、計画したカリキュラムの実施を進める。 • ものづくり・PC 部や生徒会において、「つばくろ-Lab.」を活用した取組（学校や地域の課題解決）を進める。 • 2名のSTEAM教育アドバイザーを活用し、教職員がSTEAM教育に対する理解を深めたり、実践を基にアドバイスをいただいたりする研修を通して、「つばくろ-Lab.」の効果的な活用の在り方等を研究していく。 • 燕中学校でのSTEAM教育の実践成果を他校へも共有し、教育課程の改善に繋げていく。

【所管：学校教育課】

令和5年度 教育行政評価報告書

点検項目	地区公民館事業
5年度達成目標	多様な学習機会と場を地域の人々に提供し、吉田・分水の各地区住民の知識、教養の向上並びに文化活動の発展を図り、活力ある生涯学習社会を推進する。
目標の達成状況	<p>各事業ともに、アンケート結果や聞き取りなどから概ね好評を得ている。</p> <p>吉田地区文化展では、前年比で、作品数、来場者数ともに増加したが、分水地区文化祭では、来場者数や作品数が高齢化による団体の減少等の影響により減少した。</p>
取組の概要	<p>【吉田公民館】</p> <p>① 子ども体験講座 (茶道、生け花、スライムづくり、芝ぼうやづくり、親子しめ縄づくり)</p> <p>② 大人講座 (和菓子づくり、珈琲セミナー、わら細工)</p> <p>③ 文化展</p> <p>④ ミニギャラリー</p> <p>【分水公民館】</p> <p>① 子ども体験講座 (将棋、川柳、切り絵、親子やきもの)</p> <p>② 大人講座 (バレンタインクッキング)</p> <p>③ 秋の市民文化祭</p> <p>各種講座・教室については、専門的知識を持った講師を招き、体験型による形式で実施した。また、文化展・文化祭では、公民館利用団体の成果発表の場を提供した。なお、両館とも芸能発表会はコロナ感染防止や施設設備の不良のため中止とした。</p>
自己評価	<p>各地区ともに講座内容等については好評であり、市民の教養の向上に寄与した。</p> <p>また、文化祭では、多くの来場者があり、成果発表を通じて、活動団体や来場者の芸術文化意識を深めることができた。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ターゲットである高齢者の方から、より多く参加していただくために事業を充実させていただきたい。 • 文化祭に児童、生徒から参加してもらい事業を活性化させていただきたい。 • 新規事業と継続事業をうまく組み合わせながら利用者の減少を食い止めている。今後も継続していただきたい。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 現在も各地区の文化祭に子どもたちの作品展示等を行っている。新たな参画については課題もあるため、文化協会文化部とともに今後検討する。 • 事業に関するアンケートにより、受講者の満足度だけでなく、生活に役立つ知識や社会的に身に着けたい講座などを把握し、今後の事業内容を検討する。

【所管：社会教育課】

令和 5 年度 教育行政評価報告書

点検項目	新分水良寛史料館基本構想策定事業
5 年度達成目標	<p>分水良寛史料館は開館後 40 年以上が経過し、施設の老朽化が課題となっている。</p> <p>道の駅国上の駐車場整備事業に伴い、良寛ゆかりの地でもある国上地区への分水良寛史料館の移転に係る基本構想の策定を行う。</p>
目標の達成状況	<p>令和 5 年度中の分水良寛史料館移転の基本構想策定を予定していたが、燕市内の他の文化施設等の活用とあわせて検討を行う必要が生じたため、引き続き令和 6 年度に構想策定を行うこととした。</p>
取組の概要	<p>新分水良寛史料館基本構想の内容は次の予定</p> <ol style="list-style-type: none"> ①市内施設の課題の整理 ②燕市内の史料館施設の方向性の検討 ③関係者へのヒアリングの実施 ④展示方針の策定 ⑤概算事業費の算出 ⑥整備スケジュールの策定
自己評価	<p>分水良寛史料館の移転・改築として基本構想策定業務がスタートしたが、分水良寛史料館のみならず長善館史料館等の在り方を含めた構想として令和 6 年度に継続して取り組むものとしたため、令和 6 年度末の構想策定時に評価していきたい。</p>
評価委員の評価	<ul style="list-style-type: none"> • どんな施設にも当てはまる基本構想ではなく、燕市らしい分水良寛史料館に適した基本構想を策定していただきたい。 • 地元の子どもの意見を取り入れ、特色ある施設としていただきたい。 • 分水良寛史料館以外にも他の地域に良寛に関わる施設がある。何をターゲットにするのか明確にしていきたい。
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> • 良寛を始めとした燕市の魅力を伝えられる施設となるよう調査・研究して基本構想策定に取り組んでいく。

【所管：社会教育課】

令和5年度 教育行政評価報告書

点検項目	文化財保護事業
5年度達成目標	魅力ある地域づくりのため、市内に所在する文化財の保存に努め、かつ活用を図ることで市民の地域理解の一助とし、地域への誇りと愛着を育み、文化財保護意識の向上を図る。
目標の達成状況	指定文化財の保存修理経費に対し補助金を交付することにより文化財を適切に継承していくとともに、説明板の修繕や「文化財めぐり」の実施により、広く文化財を知ってもらい感動を共有できる機会を設けたことで、文化財の保護意識向上を図った。
取組の概要	<p>1. 指定文化財等保存事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財保存修理事業（補助金交付） 市指定史跡「原田家住宅と茶室」[中島]について、主屋の屋根（茅葺）修理費へ補助金を交付した。 文化財所有者や市民からの文化財や歴史文化に関する問い合わせや相談対応を行った。 未指定文化財を調査し、新たに指定すべき文化財を検討した。 <p>2. 文化財の公開・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定等文化財の説明板などの修繕：1件（原田家住宅と茶室） 「つばめ文化財だより」第12号を発行し、市WEBサイトで公開するとともに、市内学校や文化財所有者等に配布した。所有者に対しては、必要な事務手続き等へのお知らせを兼ねる。 市民を対象に解説を交えて市内文化財を見学する「文化財めぐり」を開催し、市内の文化財に触れる機会を設けた。 <p>3. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市所蔵資料の整理等を行い、適切な保存管理に努めた。
自己評価	<p>所有者等と文化財の状態や保存対策など、きめ細かな相談に努め、文化財保存修理にかかる経費を補助することで、文化財を良好な状態で後世へ継承していくことができた。</p> <p>また、これまでは、「つばめ文化財だより」などによる発信のみであったが、「文化財めぐり」などの参加型の事業を実施することで、より身近に文化財を感じてもらえる機会となった。</p>

<p>評価委員の評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 文化財は、知られていなければそのまま朽ちていく、情報発信に努めていただきたい。 • 建造物は特に個人所有だと修理費などの負担が大きい。補助金などにより応援していただきたい。 • 文化財は観光資源になり得る。活用していただきたい。 • 文化財は、所有者が代替わりする際に失われていくものが多い。個々の所有者と相談し適切に対応していただきたい。
<p>今後の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 今後も文化財所有者等と適宜協議を重ねながら、適切な文化財の保存を図る。 • ホームページなどでの情報発信の他、文化観光や参加型の事業にも注力し、文化財を知ってもらい、文化財を守り伝える仕組み作りに取り組んでいく。

【所管：社会教育課】

第3次燕市学校教育基本計画の評価

～令和5年度の指標について～

目標1：豊かな心と健やかな体を育みます

■目標の達成状況

R4と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R4	R5	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「自分には、よいところがあると思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	88.6%	88.6%	▼88.0%	90.0%	91.0%
		中学1～3年生	85.1%	85.1%	○89.6%	87.0%	89.0%
「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	96.0%	96.0%	○96.7%	100.0%	100.0%
		中学1～3年生	95.8%	95.8%	○97.1%	100.0%	100.0%
「運動やスポーツをすることが好き」と回答した児童生徒の割合	学校教育課 調べ	小学4～6年生	83.5%	83.5%	○84.6%	85.0%	87.0%
		中学1～3年生	78.1%	78.1%	○80.8%	80.0%	82.0%

目標2：多様性を認め合い、生涯にわたって学び続ける力を育みます

■目標の達成状況

R4と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R4	R5	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	81.0%	81.0%	○81.8%	83.0%	85.0%
		中学1～3年生	88.9%	88.9%	▼87.2%	90.0%	91.0%
「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	86.7%	86.7%	▼86.4%	88.0%	90.0%
		中学1～3年生	92.8%	92.8%	○93.0%	93.0%	94.0%
教研式標準学力検査NRT偏差値平均50以上の中学1年生から3年生の教科の数（国語、数学、英語）※中学1年生の英語を除く全8教科	教研式標準学力検査NRT	中学1～3年生	3教科	3教科	▼0教科	6教科	8教科
「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	88.9%	88.9%	▼87.0%	90.0%	91.0%
		中学1～3年生	89.3%	89.3%	○90.6%	90.0%	91.0%

目標3：「ふるさと燕」に誇りと愛着を持ち、地域に貢献する志を育みます

■目標の達成状況

R4と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R4	R5	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	79.0%	79.0%	○82.0%	81.0%	83.0%
		中学1～3年生	73.4%	73.4%	▼72.8%	75.0%	77.0%
「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	95.7%	95.7%	○95.9%	96.0%	97.0%
		中学1～3年生	97.2%	97.2%	○97.3%	98.0%	99.0%
「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	学校教育課調べ	小学4～6年生	71.8%	71.8%	○77.6%	73.0%	75.0%
		中学1～3年生	51.8%	51.8%	▼51.6%	53.0%	55.0%

目標4：学校・家庭・地域の連携を強化し、子供たちの学びや育ちを支えます

■目標の達成状況

R4と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R4	R5	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
子どもの成長に係る諸課題に対して、保護者とともに研修する機会を設けた学校数	学校教育課調べ	学校	17校	17校	▼15校	18校	19校
地域と連携してSDGs等の取組を実施している学校数	学校教育課調べ	学校	15校	15校	15校	17校	19校
学校支援ボランティア活動のべ回数	地域に根差す学校応援団事業報告書	地域・保護者	2,400回	2,400回	○2907回	2,500回	2,600回

目標5：信頼される学校づくりを推進します

■目標の達成状況

R4と比較しupは○、downは▼

指標項目	出所	対象	基準値	R4	R5	中間目標値	目標値
			R4			R8	R12
「個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的、継続的に参加している」と回答した教職員の割合	学校教育課調査	教職員	63.6%	63.6%	○69.3%	65.0%	67.0%
「学校を信頼して子どもを通わせることができている」と回答した保護者の割合	学校教育課調査	小学校保護者	96.9%	96.9%	▼95.1%	97.0%	98.0%
		中学校保護者	92.9%	92.9%	○93.2%	93.0%	94.0%
「前年度と比べて子どもと向き合う時間が増えた」と回答した教職員の割合	学校教育課調査	教職員	67.6%	67.6%	R5は同様の質問がなく評価不能	69.0%	71.0%

<評価委員の評価>

- ・値としては評価できる。細かな数字で一喜一憂する必要はない。
- ・アンケートの結果だけでは見つけられない児童生徒を、見逃さないようにしていただきたい。
- ・市全体ではこのまま大きな枠組みで評価していただき、学校単位でより詳しく児童生徒の観察を行っていただきたい。
- ・自己肯定感を伸ばし、子どものやりたいことを大切にすることが将来、その子が伸びることにつながる。学習の成績だけでは計れない力を大切にしていってほしい。

<今後の方向性>

- ・子どもの興味や、学びたいという気持ちを大切に教育を推進していくよう、学校に働きかける。
- ・指導主事による学校訪問を軸に、教員が自信をもって授業で指導に当たれるよう励ましていく。

Ⅲ. 教育委員会の事業一覧

1. 令和5年度に実施した主要事業一覧

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
1	児童クラブ運営事業	就労等により、昼間保護者が家にいない小学生に遊びと生活の場を提供し、児童の健全育成と保護者支援を行いました（公立児童クラブ：20カ所、登録児童数1,120人（令和6年3月31日現在））。なお、北のなかまの会の児童クラブ化や会計年度任用職員の処遇改善等により、令和4年度比で93,763千円の増となりました。
2	小中川児童クラブ建設事業	「福祉の家」の2階及び「小中川児童館」の2階で開設している児童クラブの移転に向け、小中川小学校のプール解体跡地に新たな児童クラブを建設するための設計を行いました。
3	私立児童クラブ物価高騰対策支援金事業	光熱費等の物価高騰により負担が増大している私立児童クラブに対し、支援金を支給しました。 支給：1件
4	分水児童クラブ移転事業	分水児童館内で開設している児童クラブの移転に向け、分水北小学校内の空き教室に新たな児童クラブを整備するための設計・工事・備品購入などを行いました。
5	児童クラブメイト移転事業	吉田南小学校内で開設している児童クラブの移転に向け、旧吉田南保育園を大規模改修し、新たな児童クラブを整備するための設計を行いました。
6	なかまの会管理運営費	児童クラブが設置されていない小学校区において、放課後の子どもの居場所づくりを目的として、3カ所のなかまの会の運営を行いました（登録児童数155人：延べ16,915人）。なお、北のなかまの会の児童クラブ化に伴い、令和4年度比で6,424千円の減となりました。
7	Jack & Bettyプロジェクト	外国語指導助手（ALT）3人と日本人英語指導助手（JTE）6人を配置し、幼稚園・保育園・こども園から小中学校まで、一貫した外国語教育を行いました。 また、Jack & Betty教室に加え、英語スピーチコンテスト、Jack & Betty 体験教室を実施し、英語力の向上に努めました。親善大使海外派遣事業は、スピーチコンテストにより親善大使を決定しますが、親善大使決定の翌年度の派遣へと実施時期を見直しました。 なお、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和4年度比で526千円の増となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
8	特別支援学校就学援助事業	<p>本市在住の盲・聾・特別支援学校に通学する児童生徒の保護者を対象に、経済的負担を軽減するため、就学に必要な経費について援助を行いました。</p> <p>また、県立月ヶ岡特別支援学校に通学する児童生徒を対象に、保健・福祉施設障がい者地域生活支援センター（はばたぎ）から学校までの送迎を行いました。</p> <p>乗車人数の増加に対応するため、新たにマイクロバス1台をリースしたこと等により、令和4年度比で1,487千円の増となりました。</p>
9	奨学金貸付事業	<p>教育の機会均等と人材育成を図るため、修学の意欲があり、経済的理由により就学が困難な学生または生徒に奨学金の貸与を行いました。</p> <p>・奨学金貸付金 141人 63,960千円</p>
10	学校教育管理費	<p>教職員用パソコンの配置や校務支援システムの運用等により、教職員の多忙化解消を進め、教育の質の向上を図りました。</p> <p>また、いじめ、不登校、虐待など、子どもたちを取り巻く問題が複雑・多様化している学校現場において、弁護士の支援を受けることを目的にスクールロイヤー業務を委託しました。なお、スクールロイヤー業務委託を開始したことや、会計年度任用職員の処遇改善等により、令和4年度比で3,466千円の増となりました。</p>
11	地域に根ざす学校応援団事業	<p>学校・家庭・地域が一体となって、児童生徒の健やかな成長や地域全体の教育力向上を図るため、地域コーディネーターとの連携により、学校支援ボランティアによる「地域に作られた学校の応援団」として地域住民の参加を推進しました。</p> <p>加えて、地域ボランティアの活用による「放課後等の学習支援活動」にも取り組み、児童生徒の学力向上を図りました。</p> <p>【補助学校数及び補助額】 20校 4,221千円</p>
12	ICT教育推進事業	<p>1人1台のPC端末や各普通教室に設置済みの電子黒板等のICT機器を活用した授業を展開し、学習への意欲向上や授業の効率化を図るとともに、GIGAスクール運営支援センター・ICT支援員による学校支援やICT機器の修繕等、ICT環境の整備に努めました。</p> <p>なお、小中学校教材用提示装置のリースとネットワーク増強工事が令和4年度に終了したため、令和4年度比で2,571千円の減となりました。</p>

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
13	燕ジュニア検定事業	<p>児童を対象に、地域の歴史や文化等を楽しく勉強してもらい、ふるさとへの誇りと愛着をもってもらうため、「燕ジュニア検定問題集（令和4年度改訂）」を活用し、各小学校で、燕長善タイム等の時間を利用した学習を行いました。</p> <p>また、令和4年度に引き続き、学校で1人1台配付されているタブレットを用いて検定を行い、市内小学生3,314人が受検しました。</p> <p>なお、「燕ジュニア検定問題集改訂二版」の印刷が終了したため、令和4年度比で645千円の減となりました。</p>
14	子ども夢づくり事業	<p>子ども夢基金を活用し、小・中学生が全国スポーツ大会に出場する際の遠征費補助を行いました。</p> <p>なお、全国大会への出場者が減少したことにより、令和4年度比で、人数は13人、補助額385千円の減となりました。</p> <p>【補助件数及び補助額】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生 18件 448千円 ・中学生 19件 613千円
15	長善館学習塾事業	<p>市内の小学5・6年生を対象に、3年ぶりに感染症対策を行いながら南魚沼市での宿泊体験や起業家とのコラボ活動を実施し、たくましく生きる力やチームワーク、郷土愛を育みました。また、毎年行っている燕市をPRするビデオ制作も行いました。</p> <p>なお、参加児童の増加（11人→17人）、食物アレルギー対応等で宿泊体験実施に係る企画立案・指導業務委託料が増加したため、令和4年度比で324千円の増となりました。</p>
16	広島平和記念式典派遣事業	<p>非核平和宣言推進事業の一環として、国際的な視野をもって命の尊厳や平和の尊さについて理解できる生徒を育成するため、市内の中学生を広島平和記念式典に派遣しました。</p> <p>事前学習、現地での学びで感じたことや考えたことを報告会で発表するとともに、在籍校においても発表の機会を設けました。また、各校で作成した千羽鶴を記念公園に奉納しました。</p>
17	笑顔で入学支援事業	<p>市内の小中学校14校において入学予定児童の保護者を対象に、入学に対する不安解消や心構えなど、入学を円滑にする支援としてリーフレットの配布や講演会を実施しました。</p>
18	燕キャプテンミーティング	<p>市内中学校のリーダーを育成し、資質の向上を図るため、12月9日、1月20日の2日間で、講演会やワークショップを行いました。延べ76人の中学生が参加しました。</p>

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
19	学校図書館充実事業	計画的に図書を購入し、児童生徒の読書活動の推進や学習環境の整備に取り組みました。 また、学校図書館管理システムを活用して蔵書管理・蔵書充実・読書活動推進を行うとともに、学校図書館司書を配置し各学校図書館の運営をサポートしました。 なお、改訂版の発行に伴い、百科事典セットを各校に整備したため、令和4年度比で3,008千円の増となりました。
20	羽ばたけつばくろ応援事業	若者の主体的な活動を応援し、燕市の将来を担う人材を育成することを目的に、夢の実現や社会参画に対する支援を行いました。 【補助件数及び補助額】 団体：5件 950千円
21	つばめキッズファーム事業	市内の小学校15校を対象に、児童が農業の収穫の喜びを体験することで、児童を取り巻く農業や食の環境を学ぶとともに、自分の住んでいる地域を知るための機会を設けること等を目的に各校へ補助金を交付しました。 【補助学校数及び補助額】 15校 1,284千円
22	Good Job つばめ推進事業	生徒がふるさとへの愛着や誇りを持ち、自分の将来を設計し、自立して生きていく力を育むため、3日間の職場体験と、各1日のキャリア講演会及びマナー講習会の実施を行いました。なお、職場体験の実施に伴い各事業所への送迎業務委託料が発生したこと等により、令和4年度比で1,599千円の増となりました。
23	高校とともに創る輝く人材育成事業	平成29年3月29日に県へ提出した「燕市内の県立高校の特色化に関する提案書」に基づき、吉田高校と分水高校の特色ある学校づくりを支援することにより、燕市の将来を担う人材の育成に努めました。
24	入学準備金貸付事業	高校や専修学校、大学等への入学に際し、経済的理由により就学が困難な者の保護者等を対象に、必要となる資金の一部を入学準備金として貸し付け、教育の機会均等を図りました。
25	燕ロボット・プログラミング教室事業	小型自律動作ロボットを用いた「つばくろロボキッズ教室（全11回）」を実施し、小学3～6年生20人が参加しました。また、学校への教材の貸出を行うなど、小学生を対象としたプログラミング学習に取り組みました。加えて、燕市にて開催されたWRO Japan新潟地区予選会に4チームが出場しました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
26	実習生応援PCR検査費用助成事業	燕市在住または燕市出身で、教育免許や保育士資格等の取得のため、市内または近郊の教育・保育施設や医療施設、社会福祉施設などで実習を行う学生を対象に、PCR検査にかかる費用の一部を助成しました。 ・1人1回、上限15千円 【補助件数及び補助額】 1人 2千円
27	情報社会の必須スキル「読解力」育成プロジェクト	生涯にわたって学び続けるための土台となる「読解力」を育成する視点で、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す授業改善に取り組みました。 なお、リーディングスキルテストのほか、新たに認知能力を高めることを目的とした「コグトレ」を実施し、対象学年で1人1台のPC端末を使用したオンライン学習ソフトに取り組んだため、令和4年度比で1,123千円の増となりました。
28	コミュニティ・スクール導入促進事業	令和6年度の市内全校へのコミュニティ・スクール導入に向け、モデル校3校での取組を推進し、その他17校においてコミュニティ・スクール準備委員会を実施しました。
29	STEAM教育推進モデル事業	STEAM教育の導入に向けたモデル事業を、民間企業との協働により実施しました。燕中学校をモデル校とし、PC教室だった場所を「つばくろLab」とし、3Dプリンター・レーザーカッター等の機器を導入しました。
30	送迎バス安全装置設置事業[免許繰越]	児童生徒の送迎用に使用するバス16台に、児童生徒の置き去りを防止する装置を取り付けました。
31	教育指導費	児童生徒の基礎学力の定着度を把握し、指導方法の改善を図るための学力検査（NRT）を実施しました。また、全校に教育指導事業費補助金を交付し、よりよい学校づくり、学級づくりを行えるよう、各校の状況に応じた取組を推進しました。 なお、令和5年度は、小学校の教科書改訂に伴う教師用指導書、デジタル教科書の購入年度であったため、令和4年度比で37,716千円の増となりました。
32	学習支援充実事業	小・中学校に学習支援員14人を配置し、各学校においてきめ細かな学習指導、特別活動及び生活指導等を行うことにより児童生徒の健全育成を推進しました。
33	小中学校教職員研修事業	教職員としての資質（授業力、生徒指導力、学級経営力等）の向上を図るため、教職員を対象に各種研修を実施しました。
34	新潟大学教育学部とのパートナーシップ事業	教育学部の教授（准教授）による、最新の学術理論にもとづいた授業実践を市内の小中学校で展開するとともに、市内各校へ研修内容を広め、教職員の指導力向上を図りました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
35	学校不応・ひきこもり相談事業	悩みを抱えた小学生から39歳までの子どもや若者、その保護者からの不登校をはじめとした様々な相談に、電話、面談、訪問、メールで対応し、解決に向けた支援を行いました。(相談件数:413件)
36	スクールソーシャルワーカー等派遣事業	児童生徒が抱えている様々な問題に対し、スクールソーシャルワーカーを派遣し、家庭や関係機関、教職員等に対し支援を行い、問題の解決を図りました。
37	適応指導教室事業	学校に行くことができない児童生徒のため、市内3カ所に校外教育支援センター(適応指導教室)を設置し、個人の状況に合わせた学習や自主活動を行い、社会的自立の支援を行いました。
38	別室登校支援事業	学校に登校できても教室に入れない生徒を対象に、各中学校に学習支援を目的とする別室登校支援員を配置し、生徒へ学習機会の提供や社会的自立の支援を行いました。
39	心の教室相談員派遣事業	各中学校に心の教室相談員を派遣し、悩みのある生徒に対する心のケアを行いました。
40	言語・発達障がい通級指導教室運営費	発達の特性に応じて児童生徒が積極的に学校生活を営むことができるよう、言語通級教室(燕西小・吉田小・分水小)・発達障がい通級教室(吉田南小・吉田中)で専門的な指導を行いました。 なお、令和6年度から小中川小に発達障がい通級教室を開設するための備品等を購入したため、令和4年度比で197千円の増となりました。
41	教育センター運営費	教育関係職員等の研修などを実施する教育センター施設の管理運営を行いました。 なお、冷暖房設備の入替工事を行ったため、令和4年度比で4,619千円の増となりました。
42	子どもを育む推進事業	中学校区単位で絆スクール集会を実施し、いじめ見逃しゼロに対する意識の高揚を図りました。また、いじめ防止対策等専門委員会を開催し、「燕市いじめ防止基本方針」の一部改定について協議を行いました。また、3年に1度、市内全中学校を対象に実施している「家族草子」鑑賞会の実施をしました。 令和5年度は家族草子観劇会の実施年度だったため、令和4年度比で5,311千円の増となりました。
43	科学教育推進事業	燕・弥彦科学教育センターと連携し、理数教育を中心とした研修体制を充実・強化することで児童生徒、教師や市民の科学に対する意識向上を図りました。教職員に対する研修等を実施しました。 なお、感染症5類移行に伴い、科学の祭典等の対面イベントの参加者の増加や教職員研修等の参加者の増加により、令和4年度比で877千円の増となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
44	遠距離通学支援事業	遠距離通学児童を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、保護者負担の軽減と通学の支援を図りました。 なお、燃料費の高騰や、国における安全なバス運行を担保するための借り上げバス料金への規制等により、バス運行に係る経費が増額となったため、令和4年度比で1,287千円の増となりました。
45	松長小学校の統合準備事業	松長地区の児童数が減少し、令和5年度以降は2つの学年で1学級を編制する複式学級が見込まれる状況を踏まえ、松長小学校と小中川小学校の円滑な学校統合を図るため「学校統合準備会」を設置し、準備会を8回開催しました。 また、松長小学校区から小中川小学校へ学区外就学申請を行った児童のための通学バスの運行したほか、松長小学校へ学習支援員を1人配置しました。 なお、閉校する松長小における閉校記念事業補助金や小中川小学校の体操着購入費補助金の交付等により、令和4年度比で3,745千円の増となりました。
46	教育振興費	経済的な理由により就学困難な児童の保護者及び小学校の特別支援学級に在籍している児童の保護者等を対象に、小学校でかかる費用の一部を助成しました。
47	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
48	校外学習等実施費	市内小中学校の校外学習・屋内プール施設を利用した水泳授業の送迎に係るマイクロバス等の運転業務の委託、観光バスの借上等を行いました。 なお、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い校外学習を再開したこと等により、令和4年度比で3,809千円の増となりました。
49	小学校整備事業	吉田南小学校防砂ネット張替工事（6,820千円）や留守番電話機能追加工事（1,694千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。 令和5年度は、高額な工事が多かったため、令和4年度比で18,649千円の増となりました。
50	小学校プール解体・駐車場等整備事業	老朽化により使用を停止したプールの解体及び跡地の駐車場等整備を進めるため、燕東・粟生津・吉田北小学校の工事、燕南・小池・大関・小中川小学校の設計を行いました。
51	小学校玄関オートロックシステム化事業	来客用玄関に教務室から遠隔で開錠できる電気錠と、教務室に来校者が確認できるモニター付きのインターホンを設置する工事を行いました。
52	燕東小学校消防設備改修事業	消防設備（消火設備、自動火災報知設備、誘導灯設備等）の老朽化や現在の法令に適合していない（既存不適格）状態にある防火シャッターの改修設計を行いました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
53	燕東小学校屋内運動場外装等改修事業	建設から22年が経過し、雨漏りや外壁のひび割れなどの劣化が進んでいる屋内運動場を改修するため、外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、設計を行いました。
54	移動式空調設備導入事業	近年の記録的な猛暑を受け、小学校体育館内での児童の熱中症予防の対策として導入する「移動式空調設備」の専用コンセント工事の前払いを行いました。
55	燕西小学校外装等改修事業[明許繰越]	建設から29年が経過し、経年劣化が進んでいる校舎・屋内運動場の外壁や屋根、建具、電気設備、機械設備等について、改修工事を行いました。また、車いすの児童に対応するため、エレベーターの増築を行いました。
56	小学校特別教室等冷暖房設備整備事業[明許繰越]	冷房設備が設置されていない特別教室（理科・家庭科・図工室等）に冷暖房設備を導入する工事を行いました。また、経年劣化が進んでいる分水小学校の冷暖房設備入替の工事を行いました。
57	遠距離通学支援事業	遠距離通学生徒を対象にスクールバスの運行を行うとともに、スクールバスを運行していない地区に助成金を交付することで、通学の支援と保護者負担の軽減を図りました。 なお、燃料費の高騰や、国における、安全なバス運行を担保するための借上げバス料金への規制等により、バス運行に係る経費が増額となったため、令和4年度比で629千円の増となりました。
58	教育振興費	経済的な理由により就学困難な生徒の保護者及び中学校の特別支援学級に在籍している生徒の保護者等を対象に、中学校でかかる費用の一部を助成しました。
59	理科教育等設備整備事業	子どもたちに科学的な知識や技能を習得させるとともに、工夫創造の能力を養うため、国の補助金を活用し理科教育備品を購入しました。
60	部活動外部人材活用事業	市内中学校の部活動に対して、専門的な技術指導力を有する指導者を外部人材活用事業として11人を派遣することにより、部活動の振興と地域社会との連携を促進しました。 なお、部活動指導員の増員等により、令和4年度比で2,352千円の増となりました。

学校教育課

No	主要事業名	事業の概要
61	部活動の地域移行事業	<p>国の指針に基づき、部活動の段階的な地域移行を進めました。</p> <p>令和5年度は、部活動地域移行総括コーディネーター及びコーディネーターを配置し、7月から4つのスポーツ（バスケットボール、バドミントン、バレーボール、陸上）について、地域クラブを設置し、活動を開始しました。</p> <p>また、「燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会」を設置し、今後の地域移行を進めるための方策等について議論を行ったほか、地域移行の先進地から講師を招聘し、市民を対象に「燕市部活動の地域移行シンポジウム」を実施しました。</p>
62	中学校整備事業	<p>燕北中学校屋外排水設備改修工事（10,854千円）や留守番電話機能追加工事（741千円）など、各学校施設の整備・修繕を行いました。</p> <p>令和5年度は、高額な工事が多かったため、令和4年度比で6,772千円の増となりました。</p>
63	中学校屋内運動場照明器具改修事業	<p>HID灯の生産終了に伴い、燕北・分水中学校の屋内運動場照明のLED化を行いました。（燕・小池・吉田中学校はLED化済）</p>
64	小池中学校長寿命化改良事業	<p>内外装の劣化・損傷、設備機器の故障及び配線配管類の劣化が進んでいる小池中学校の長寿命化を図るため、令和5年度は構造体の健全性を確認するための耐力度調査を行いました。</p>
65	中学校玄関オートロックシステム化事業	<p>来客用玄関に教務室から遠隔で開錠できる電気錠と、教務室に来校者が確認できるモニター付きのインターホンを設置する工事を行いました。</p>
66	移動式空調設備導入事業	<p>近年の記録的な猛暑を受け、中学校体育館内での生徒の熱中症予防対策として導入する「移動式空調設備」専用コンセント工事の設計を行いました。</p>
67	学校衛生管理費	<p>児童生徒及び教職員の健康保持のために、各種健康診断や学校環境衛生検査を実施するなど、保健衛生面から教育環境の整備、充実を図りました。</p> <p>感染症対策のための消耗品購入及び消毒業務委託により、令和4年度比で1,701千円の増となりました。</p>

学校教育課

No	主 要 事 業 名	事 業 の 概 要
68	感染症流行下における学校教育活動体制整備事業	市内小中学校において、活動を制限せず教育活動を継続する体制を確保するため、教室等における効果的な換気の実施に必要なサーキュレーター等の換気対策整備に係る備品等を購入しました。
69	給食センター管理運営費	<p>市内小中学校の児童生徒に、東部学校給食センター（燕地区）及び西部学校給食センター（吉田地区・分水地区）で調理した学校給食を提供しました。また、食材費が高騰する中、給食の質を保ちながら、子育て世帯の経済的な負担が増加しないよう学校給食会計に補助しました（25,018千円）</p> <p>学校給食食材費物価高騰対策補助金、調理配送等業務委託料の増額等により令和4年度比で26,389千円の増となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間食数（小学校751,986食、中学校401,053食） ・給食1食あたりの保護者負担額（小学校275円、中学校320円） ・平均給食回数（小学校約190回、中学校約193回）
70	学校教育施設災害復旧費	能登半島地震による被害の復旧のため、小中学校のひび割れ・欠損部の補修や漏水・陥没箇所の修繕等を行いました。

社会教育課

No	主要事業名	事業の概要
71	勤労青少年ホーム（夢中館）管理運営費	勤労青少年ホーム（夢中館）の管理運営を行いました。
72	生涯学習推進費	第2次燕市生涯学習推進計画（平成28年度～令和5年度）の進捗管理及び、第3次燕市生涯学習推進計画の策定について協議するため、燕市生涯学習推進協議会（3回）を開催しました。 また、生涯学習人材バンクの登録・活用の促進を図るとともに、生涯学習情報の提供に努めました。 なお、令和5年度は第3次燕市生涯学習推進計画策定に向け、生涯学習推進協議会を1回多く開催したため、令和4年度比で59千円の増となりました。
73	社会教育総務費	社会教育行政にかかる社会教育委員の会議（1回）を開催しました。また、必要な研修会に参加しました。
74	20歳記念事業	「二十歳のつどい」を令和6年3月17日に燕三条地場産業振興センターにて開催しました。 なお、令和4年度は令和3年度の式典を延期して2回開催したほか感染症の影響で設けていた入場制限を撤廃し、ライブ配信を実施しなかったことから、令和4年度比で2,154千円の減となりました。
75	中央公民館管理運営費	中央公民館の管理運営を行いました。
76	中央公民館事業	青少年や成人、高齢者などの幅広い年齢層を対象に市民教養講座、つばめ目耕塾、燕大学、子ども体験講座などの講座を開催しました。
77	地区公民館管理運営費	吉田公民館・分水公民館の管理運営を行いました。 なお、令和4年度の改修工事に伴って休館していた吉田公民館を再開したこと等により、令和4年度比で4,301千円の増となりました。
78	地区公民館事業	各地区公民館で利用団体の育成と発表の場として、文化祭を行うとともに、成人や青少年を対象として講座を行いました。
79	分館管理運営費	中央公民館の5分館の管理運営を行いました。また、中央公民館の3分館、吉田公民館の2分館の指定管理業務委託を行いました。 なお、隔年で実施する特殊建築物定期調査の該当年度であったこと、人件費の上昇、光熱水費等の高騰等により指定管理委託料が増加し、令和4年度比で4,141千円の増となりました。
80	分館事業	中央公民館の5分館において、各種教室や文化祭などの地域に密着した事業を行いました。 なお、感染症への配慮で中止していた事業の大部分を再開したため、令和4年度比で133千円の増となりました。
81	市民交流センター管理運営費	燕市民交流センターの管理運営を行いました。

社会教育課

No	主要事業名	事業の概要
82	吉田ふれあいセンター管理運営費	吉田ふれあいセンターの管理運営を行いました。
83	図書館管理運営費	図書館協議会（2回）を開催し、「第3次燕市子ども読書活動推進計画」策定に係るアンケートや図書館運営について協議しました。 また、市内3図書館の指定管理業務委託を行いました。
84	青少年育成センター事業	街頭補導活動など青少年健全育成のための事業を行いました。 また、若者就労支援事業を三条地域若者サポートステーションに委託し、燕市内での出張相談、職場見学、ジョブトレーニング、各種セミナーなどを行いました。
85	文化会館管理運営費	文化会館の管理運営を行いました。また、文化会館運営審議会（2回）を開催し、文化会館の自主事業や利用状況等について協議しました。
86	文化会館自主事業	市内小学校合同演劇鑑賞会など6事業を開催しました。 なお、市内小学校合同演劇鑑賞会の対象学年を限定したこと等により、令和4年度比で1,704千円の減となりました。
87	分水良寛史料館管理運営費	良寛遺墨や良寛ゆかりの人物の作品、資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催しました。 なお、所蔵品の燻蒸業務の実施等により、令和4年度比で966千円の増となりました。
88	長善館史料館管理運営費	長善館の功績を伝えるための資料の常設展示のほか、年4回の企画展を開催するとともに、引き続き、筑波大学と連携して長善館門下生の動向や教育内容についての調査研究を行いました。 なお、令和4年度は長善館史料館の洋式トイレ取替工事を実施したことから、令和4年度比で2,389千円の減となりました。
89	文化財保護事業	文化財収蔵庫の維持管理を行うとともに、市指定文化財保護のための環境整備等を行いました。 なお、市指定文化財「原田家住宅と茶室」の保存修理事業（補助金交付）の実施等より、令和4年度比で1,307千円の増となりました。
90	埋蔵文化財事業	市内遺跡の発掘調査や各種工事の立ち会いなど埋蔵文化財の保護を行いました。 また、遺跡出土品展を開催したほか、石港遺跡の発掘調査現地説明会を開催するなど、埋蔵文化財の公開活用に努めました。 なお、令和4年度から引き続き実施している石港遺跡の本発掘調査の他、仲沖遺跡や松田遺跡など発掘調査業務が増大したため、埋蔵文化財事業および埋蔵文化財事業〔明許繰越〕合わせて、令和4年度比で209,073千円の増となりました。

社会教育課

No	主要事業名	事業の概要
91	文化振興事業	燕市美術展覧会や良寛書道展、つばめっ子かるた大会の開催、文化団体に対する活動支援や、「郷土史燕」、「文芸つばめ」を刊行しました。 なお、大河津分水100周年事業として実施した「声優朗読劇」の脚本を基にした、「小説」と「絵本」を作成したことから、令和4年度比で1,705千円の増となりました。
92	体育振興費	燕市スポーツ協会と燕市スポーツ少年団の活動を支援するとともに、スポーツ推進委員との連携により、地域スポーツの振興に努めました。
93	生涯スポーツ振興費	燕さくらマラソン大会や健康づくり教室、各種スポーツ大会を開催し、生涯スポーツの振興に努めました。 なお、地域おこし協力隊1名の減等により、令和4年度比で3,331千円の減となりました。
94	東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流事業	東京ヤクルトスワローズと縁の深い4都市（燕市、松山市、浦添市、西都市）の交流事業として、第11回東京ヤクルトスワローズカップ少年野球交流大会が宮崎県西都市で開催され、予選を勝ち上がった吉田北小スピリッツ（初出場）を派遣しました。
95	ゆめみらいスポーツ教室	東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとして、オリンピック等を講師に招き、小中学生向けに夢や希望を与えるスポーツ教室（陸上、水泳、バレーボール）を開催しました。
96	体育施設管理運営費	燕市体育センターほか24体育施設の指定管理業務委託を行うとともに、燕北多目的武道場、分水プールの施設管理を行いました。
97	三条・燕総合グラウンド施設組合管理運営費	三条・燕総合グラウンドの管理運営を三条市と共同で行いました。 なお、屋外トイレを増設したこと等により、令和4年度比で1,521千円の増となりました。
98	分水多目的屋内運動場改修事業	分水多目的屋内運動場2号棟改修工事に係る設計業務委託を行いました。
99	B&G海洋センター改修事業	B&G海洋センター改修工事に係る基本設計業務委託を行いました。
100	サッカー場基本構想策定事業	サッカー場の整備候補地における配置図案の作成及び概算整備費の積算について業務委託を行いました。

社会教育課

No	主要事業名	事業の概要
101	分水多目的屋内運動場改修事業 [明許繰越]	分水多目的屋内運動場1号棟の人工芝、電気設備、トイレの改修工事を行いました。 なお、令和4年度は設計業務委託のみであったことから、令和4年度比で38,666千円の増となりました。
102	スケートボード場整備事業[明許繰越]	令和4年度に引き続き、スポーツランド燕内にスケートボード場を整備しました。 なお、令和4年度は設計業務委託のみであったことから、令和4年度比で25,594千円の増となりました。
103	開放施設管理費	市内小中学校の体育館およびグラウンドの一般開放を行いました。
104	学校開放施設ナイター設備改修事業	分水中学校及び小池中学校のナイター照明設備のLED化改修工事を行いました。 なお、改修した学校数の増減はありませんが、LEDの灯数等が減ったことにより、令和4年度比で20,784千円の減となりました。
105	社会教育施設災害復旧費	能登半島地震発生の影響により、市民交流センター外壁および窓ガラス修繕、西燕公民館の天井、建具修繕工事等を行いました。
106	社会体育施設災害復旧費	能登半島地震発生の影響により、ビジョンよしだ25m地下ピット内配管工事、B&G海洋センターボイラー水漏れ修繕工事等を行いました。

IV. 教育委員会の会議及び教育委員の主な活動状況

1 教育委員会の会議

●4月定例教育委員会【令和5年4月26日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第4号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第2号 新規共催・後援申請について

議案：議案第21号 燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会設置要綱の新規制定について

議案第22号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

議案第23号 燕市 Good Job つばめ推進事業実行委員の委嘱について

議案第24号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第25号 学校薬剤師の委嘱について

議案第26号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の選任について

議案第27号 燕市立小学校及び中学校における非常かけつけ人の委嘱について

議案第28号 燕市社会教育委員の委嘱について

議案第29号 燕市図書館協議会委員の委嘱について

議案第30号 燕市立学校統合準備会の委員の委嘱について

その他：（1）「羽ばたけつばくろ応援事業」審査員の選任について

●5月定例教育委員会【令和5年5月25日（木）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議案：議案第31号 燕市学校給食運営委員会委員の委嘱について

議案第32号 燕市体育施設条例施行規則の一部改正について

議案第33号 燕市子どもを育む推進協議会委員の委嘱について

議案第34号 燕市未来いきいき地域クラブ検討委員会委員の委嘱について

議案第35号 燕市未来いきいき地域クラブ設置要綱の新規制定について

議案第36号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

●6月定例教育委員会【令和5年6月30日（金）】

- 諸報告：（1）教育長職務代理者の指名について
（2）行事報告及び行事予定
（3）教育長報告
（4）寄附報告

報告：報告第6号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第4号 新規共催・後援申請について

議案：議案第37号 燕市ICT教育推進協議会委員の委嘱について

議案第38号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

議案第39号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第40号 燕市就学援助実施要綱の一部改正について

その他：（1）令和5年第2回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1）一般質問の概要について

●7月定例教育委員会【令和5年7月26日（水）】

- 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告
（3）寄附報告

報告：報告第7号 共催・後援の教育長専決報告について

議案：議案第41号 燕市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部改正について

その他：（1）「燕市環境審議会」委員の推薦について

●8月定例教育委員会【令和5年8月22日（火）】

- 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告

報告：報告第8号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第5号 新規共催・後援申請について

●9月定例教育委員会【令和5年9月29日（金）】

- 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
（2）教育長報告

報告：報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第6号 新規共催・後援申請について

議案：議案第43号 燕市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部改正について

その他：（1）令和5年第3回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

- 1）一般質問の概要について
2）訴えの提起について
3）令和5年度燕市一般会計補正予算（第4号）
（2）令和5年度全国学力・学習状況調査の結果と分析

- 10月定例教育委員会【令和5年10月26日（木）】
 - 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
 - （2）教育長報告
 - （3）寄附報告
 - 報 告：報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 協議題：協議第7号 新規共催・後援申請について

- 11月定例教育委員会【令和5年11月24日（金）】
 - 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
 - （2）教育長報告
 - （3）寄附報告
 - 報 告：報告第11号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 協議題：協議第8号 新規共催・後援申請について
 - 議 案：議案第44号 石港遺跡発掘調査指導委員会設置要綱の新規制定について

- 12月定例教育委員会【令和5年12月26日（火）】
 - 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
 - （2）教育長報告
 - （3）寄附報告
 - 報 告：報告第12号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 報告第13号 専決処分の報告について
 - 協議題：協議第9号 新規共催・後援申請について
 - その他：（1）令和5年第4回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）
 - 1）一般質問の概要について

- 1月定例教育委員会【令和6年1月26日（金）】
 - 諸報告：（1）行事報告及び行事予定
 - （2）教育長報告
 - （3）寄附報告
 - 報 告：報告第1号 共催・後援の教育長専決報告について
 - 協議題：協議第1号 新規共催・後援申請について
 - その他：（1）令和5年度燕市学校給食喫食量調査について
 - （2）令和6年第1回燕市議会臨時会（教育委員会関係抜粋）
 - 1）財産の取得について（移動式エアコン購入）
 - 2）令和5年度燕市一般会計補正予算（第9号）

●2月定例教育委員会【令和6年2月22日（木）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

報告：報告第2号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第2号 新規共催・後援申請について

議案：議案第1号 市長部局の権限に属する事務の一部を教育委員会に委任すること及び教育委員会の事務を補助する職員に補助執行させることに関する協議に対し同意を行うことについて

●3月定例教育委員会【令和6年3月27日（水）】

諸報告：（1）行事報告及び行事予定

（2）教育長報告

（3）寄附報告

報告：報告第3号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題：協議第3号 新規共催・後援申請について

議案：議案第3号 燕市教育委員会職員の職名に関する規則の一部改正について

議案第4号 燕市立図書館条例施行規則の一部改正について

議案第5号 燕市立幼稚園条例の廃止に伴う教育委員会関係告示の整理に関する告示の制定について

議案第6号 燕市立学校の学区に関する規則の一部改正について

議案第7号 燕市学校事務共同実施要領の一部改正について

議案第8号 燕市不登校児童生徒適応指導教室設置要綱の一部改正について

議案第9号 燕市教育委員会処務規程の一部改正について

議案第10号 燕市教育委員会事務決裁規程の一部改正について

議案第11号 燕市教育委員会公印規程の一部改正について

議案第12号 教育財産の用途廃止及び所管替えについて

議案第13号 燕市学校運営協議会規則の一部改正について

議案第14号 燕市地域に根ざす学校応援団事業実施要綱の制定について

議案第15号 燕市教育行政評価委員会委員の委嘱について

議案第16号 学校医等の委嘱について

議案第17号 第2次燕市スポーツ推進計画（案）について

議案第18号 燕市地域コーディネーターの選任について

議案第19号 燕市学校運営協議会委員の委嘱について

その他：（1）令和6年第1回燕市議会定例会（教育委員会関係抜粋）

1）一般質問の概要について

2）令和5年度燕市一般会計補正予算（第11号）

（2）第3次燕市生涯学習推進計画（案）について

2 総合教育会議

●令和5年度 燕市総合教育会議【令和5年7月26日（水）】

検討テーマ：「子育てするなら燕市で」と評価される施策の展開 ～市長部局と教育委員会の主な事業・連携・進捗状況について～

●令和5年度 燕市総合教育会議【令和5年10月26日（木）】

検討テーマ：「部活動の地域移行 ～ 令和5年7月以降の取組状況～」について

3 教育委員の視察

開催日	視察先	視察内容
1月18日（木）	燕中学校	授業見学 部活動見学（つばくろ-Lab.）
1月19日（金）	燕西小学校	外装等改修工事完了現場見学 授業見学

4 教育関係会議

- ・全県教育長会議（4/14（金）新潟県自治会館）
- ・関東地区都市教育長協議会総会（5/9（火）～5/10（水）東京都立川市）
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（5/26（金）埼玉県加須市）
- ・新潟県都市教育長協議会春季定期総会（5/30（火）南魚沼市）
- ・新潟県市町村教育委員会連合会定期総会（7/21（金）五泉市）
- ・新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10/27（金）胎内市）